

報告

第6回瀬谷区地域福祉保健計画策定懇談会

令和3年6月24日（木） 瀬谷区役所5階大会議室

第4期計画の最終案確定に向け、第6回策定懇談会を開催いたしました。中間案に対する区民意見や最終案について、貴重なご意見をたくさんいただきましたので、主な内容をご報告いたします。いただいたご意見を踏まえ、より一層内容を充実いたします。

【中間案に対する区民意見について】

- ・「父親も子育てを通して、地域に関われるようにできると良い」という意見は、これまでの区民意見からはあまり見られなかった内容だと思う。育休を取得し、父親も少しずつ地域に出てきている様子うかがえ、子育てを通して地域への関わりが出てきていると感じている。
- ・「買い物困難者が多い中で、移動販売が有効に活用できていると思う」との意見は、実際、地域のみなさんにアンケートを実施し、坂が多く買い物が大変という声から、地域の会議で検討を重ね、移動販売を実施した事例がある。地域で困っていることを拾い上げて、それを実施していくことが大事だと改めて感じた。
- ・「自転車が、安心して走れる道を確保してほしい」という意見は、都市計画に付随する課題ではあるが、基本目標Ⅱにつながるものとして取りあげている。地福計画で発掘された課題をきっかけに都市計画でも取り上げられることがあるので、今後、地域の様々な課題は地福計画を通じて取り組めるかもしれない、という気持ちで進めてほしい。
- ・「町内会の運営委員が高齢化し、若い人が引き継げる組織の在り方の検討が必要」という意見に関して、瀬谷区内でも1割以上の空き室があつて新たに入居されない住宅があることは大きな問題と考える。また、自治会町内会の活動がしっかり行えるよう、自治会町内会の加入促進や若い方が関心をもっていただけるように進めていくことが必要である。このような課題を知ってもらい、それぞれの役割をもってみんなで取り組んでいかななくてはいけないことを、計画にも入れてほしい。
- ・ロゴマークは投票多数で、瀬谷区の花「紫陽花」をモチーフにした案1で決定いたしました。



【最終案（冊子・概要版）について】

- ・従来の福祉の活動では高齢化が顕著であるが、多様な分野を扱っている団体は若い世代が増えている。その方たちは、平日の夜間よりも土日に活動している傾向があり、地域活動のスタイルを見直すと若い世代の参加が見込めるかもしれない。
- ・若い方に連合町内会のホームページを作成していただいた。高齢者が苦手とすることをやることで、「それならば、私もできる」と若い方が自然に参加した事例がある。
- ・他区の地域づくり大学校では40・50代の方がたくさんいる。自分達が地域に対して何か役に立てることがないかと考え、自治会長の推薦で参加しているところもある。若い方の自発的な姿勢によってうまく代替わりが行われており、良い手法だと思った。
- ・「現状と課題（資料編）」の表題でデータの掲載があるが、文章では課題や分析の記載が少ないので、「現状と課題」の表現が適切か気になった。
- ・資料編に掲載しているデータ情報が古い。また、データの解説の精度をあげてほしい。
- ・地域包括ケアシステムのコラムについて、なぜ地域包括ケアシステムが地域福祉保健計画に掲載しているのかも含め、もう少しわかりやすい文章にしてほしい。
- ・コロナのコラムについて、「コロナに負けない瀬谷区の地域活動」という表題なので、「誰もが活躍できる」の内容をもう少し具体的なものにしてほしい。
- ・園芸博覧会について、区役所の取組の方向性で記載はあるが、コラムとして掲載してはどうか。
- ・主任児童委員は、PTAを卒業した方やこども会の役員を終えた方が就く流れが多い。そのため、主任児童委員のイラストはもう少し若い世代の掲載をお願いしたい。
- ・色の配色や濃淡、文字の大きさと読みにくいと感じる箇所が一部ある。冊子の印刷では改善されると良い。

【今後のスケジュール】

第7回瀬谷区地域福祉保健計画策定懇談会

日程：令和3年9月30日（木）

内容：最終案の確定に向けた意見交換

瀬谷区福祉保健課：上本・谷・小林・松浦

連絡先：367-5743

Mail：se-chifuku@city.yokohama.jp